

# 令和6年度科学研究費助成事業 学内応募要領

〔ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI〕

※最初に、日本学術振興会 科学研究費助成事業 ホームページ 公募情報ページに掲載されている「公募要領」等を必ず熟読してください。(https://www.jsps.go.jp/j-hirameki/boshu.html)

## 1. 対象

ひらめき☆ときめきサイエンスは、以下に掲げる点を目的として、学術が持つ意義や学術と日常生活との関わりに対する理解を深める機会を社会に提供することを趣旨とするものです。

- ・我が国の将来を担う児童・生徒を対象として、若者の科学的好奇心を刺激してひらめき、ときめく心の豊かさと知的創造性を育むこと
- ・科研費による研究について、その中に含まれる科学の興味深さや面白さを分かりやすい形で直に伝えること
- ・以上を踏まえ、学術の文化的価値及び社会的重要性を社会・国民に示し、学術の振興を図ること

本公募においては、上記の趣旨・目的を踏まえるとともに、次の項目を全て満たすプログラムを対象とします。

- ① 科研費による研究に関わる基礎的な内容をより分かりやすく伝え、科学に興味深さや面白さを体感できるようなプログラムであること。
- ② 小学5・6年生、中学生及び高校生のいずれかが対象であること（対象が重複しても構いません）。
- ③ 実施代表者（「2. 応募資格等」参照）の所属する研究機関が主催するプログラムであること（学協会や自治体等、実施代表者の所属する研究機関とは別の組織が主催する行事の一部として実施するプログラムは対象としません）。

## 2. 応募資格等

e-Radに「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されている研究者のうち、過去又は令和5(2023)年度に継続中の科研費の研究課題の研究代表者として研究を実施したことがある研究者

## 3. 研究計画調書等の学内提出方法・期限について

### (1) 「研究計画調書(PDFファイル)」の作成

提出期限: 令和5年8月17日(木)

①日本学術振興会 科学研究費助成事業 ホームページ 公募情報ページから「研究計画調書(添付ファイル項目) S-53」様式をダウンロードのうえ作成してください。

(https://www.jsps.go.jp/j-hirameki/boshu.html)

②科研費電子申請システム(https://www.shinsei.jsps.go.jp/kaken/index.html)の「研究者ログイン」からログインして「Web入力項目」を入力するとともに、①で作成した「添付ファイル項目(Word)」を科研費電子申請システムにアップロードして「研究計画調書(PDFファイル)」を作成し、メール添付にて研究・連携推進課研究協力係(以下、研究協力係)へご提出ください。

※1 この時点で科研費電子申請システム上の「確認完了・提出」処理は行わないでください。

※2 システム上で提出されただけでは受付されません。

### (2) 科研費電子申請システムによる「確認完了・提出」

期限: 令和5年9月8日(金)

研究協力係での確認作業後、修正の有無および「確認完了・提出」処理の可否についてご連絡します。その連絡を受けた後「確認完了・提出」処理を行ってください。

#### 4. 研究倫理教育の受講について

研究倫理教育を受講することが義務付けられています。本学の場合「APRIN e-ラーニングプログラム」を受講することとしております。令和2（2020）年度以降に受講し修了された方は、本年度の受講は不要です。

#### 5. 令和6年度公募における主な変更点について

別紙 <令和6（2024）年度における主な変更点等> をご参照ください。

#### 6. 科研費公募要領等に関する学内説明会について

「東京学芸大学科学研究費 Web」に資料を掲載しますので、ご参照ください。

(<https://www.u-gakugei.ac.jp/~gakugai/h21top/index.html>)

#### **[担当]**

研究・連携推進課 研究協力係

Tel : 042 (329) 7872

Mail : kakenhi(a)u-gakugei.ac.jp ((a)→@)

## <令和6(2024)年度公募における主な変更点等>

### (1) 公募スケジュールの変更

○以下のとおり公募スケジュールを変更しました。

(参考) 研究成果公開促進費の令和6(2024)年度公募、内定時期(予定)

### <令和6(2024)年度科研費>

研究種目名	公募開始	公募締切	審査結果通知	交付内定
研究成果公開促進費	令和5年7月14日	令和5年9月19日	令和6年3月下旬	令和6年4月上旬

○公募開始時期とともに、公募締切時期の早期化が行われていることに十分留意してください。

### (2) 応募書類の引き戻し機能の実装について

○本公募より、計画調書の提出(送信)期限より前であれば、日本学術振興会への提出(送信)後に計画調書(応募書類)の引き戻し、必要に応じた訂正、再提出を行うことが可能となりました。(「V 研究機関の方へ 4 応募書類の内容等の確認及び取りまとめ」、「VI 応募書類の提出等」参照)

### (3) 「完成した原稿等の写し」の提出方法の変更について

○本公募より、学術図書に応募書類「完成した原稿等の写し」について、電子媒体により提出していただきます。郵送による提出は受理しません。(II 公募の内容 「学術図書「完成した原稿等の写し」の提出方法」参照)

### (4) 「最新の刊行物等」の提出方法の変更について

○本公募より、国際情報発信強化に応募書類「最新の刊行物等」について、電子媒体により提出していただきます。郵送による提出は受理しません。(II 公募の内容 「国際情報発信強化「最新の刊行物等」の提出方法」参照)